

# 子らと共に 日々の生活より



上中千代子

いやや、われらが子らに

生きようではないか。フレーベル

日中は小鳥の囀するように賑やかだった  
保育室も、子どもたちが帰ってしまった今  
はがらんと静まりかえっている。そして一  
層その静けさと同調するように黄色い晚秋

放し、園庭を眺めつつその日一日の子ども  
の姿を想い出し反省するのが常であります。  
そこには新入園の子どもたちと一しょ

にこの春私たちが着任した時には未だ五六  
糰の苗にすぎなかつたつるばらがありま  
す。そしてそれは支柱を巻きつたいたながら、  
毎日目に見えぬ成長を遂げ今では幼稚園の  
机の上にうつ伏せになつて転がつている片  
足のもぎとられた人形、黒板一杯に自由に  
なぐり描きされたさまざまの形跡のみ

がきょうの子どもの活発な生活ぶりを物語  
つてゐるようである。元気に手をふりなが  
ら帰つて行く子どもたちを送り出し、ほつ  
と安堵の息をつきながら、私は窓を全部開  
いた。風雨に対する防御となる支柱がなかつ  
たなら、果してこの短かい期間にここまで  
大きく立派に伸びられただろうか？ 私た  
ちの日々の保育生活においても教師は子ど  
もたちのよき支柱となり、互いに協力し合  
つてこそ、物事が円滑に正しく、活発にお  
こなわれ保育効果も達成されるのだと思  
います。

数週間前のことでした。

秋風と共に園庭の樹木の葉が一枚一枚と  
舞い落ち、遊び場がたいへんきたなくなり  
ましたので、外遊びの時間、私は、子どもた  
ちと思いつきボール遊びをした後、バサ  
バサと落葉をかき集めていますと、今まで  
三三五五遊びにふけつていた子どもたちが  
あちらからも、こちらからもやつて来て  
同じように落葉を集め運んでくれました。  
子どもたちは先生と一緒に遊びや仕事を  
するのをとても喜ぶものです。この時もた  
いへん喜んでさつさとやってのけた上、先

かりしたものであつても常にその支えとな  
り、風雨に対する防御となる支柱がなかつ  
たなら、果してこの短かい期間にここまで  
大きく立派に伸びただろうか？ 私た  
ちの日々の保育生活においても教師は子ど  
もたちのよき支柱となり、互いに協力し合  
つてこそ、物事が円滑に正しく、活発にお  
こなわれ保育効果も達成されるのだと思  
います。

日来の大雨で溝をうめつくしている土をも  
掘り出そうと言いました。そしてそれ  
ぞれ、砂場遊びのスコップをもって来て炭  
坑の工夫さんのような元気な手つきで掘り  
始めほんのしばらくの間に幼稚園じゅうの  
溝をきれいに掃除してしまいました。この  
時の子どもたちの楽しそうな笑顔、手つき  
も生き生きとしていて、なんともいえず印  
象的でした。もし、この溝の作業を、放課後  
先生がたの手だけでやつたとしたら、勿論、  
よりきれいに出来たかもしれませんのが、そ  
れはただ、単なる労働、少なからず苦しい労  
働に終つたことだろうと思います。また、  
子どもたちだけでやり、先生も一しょにし  
ている、先生が喜ぶ、という気持がなかつ  
たら、子どもたちはすぐ飽きてしまいそれ  
は完成しなかつただろうと思います。

私は、すっかりきれいになつた園庭と溝  
を見渡しつつ、教師と子どもが共に生活の  
場をもつたからこそ、自發的意欲もわき立  
ち、時には苦しい仕事が楽しい遊び

となり、また先生、仲間との融和、協力が  
なされ、私たちのめざしている民主的社會  
人を育てる為の保育活動が、自然のうちに  
を生かすようになつたなどの事例をいくつ  
展開されたのだと思いました。

私が新しい生活への一歩の不安と、反面  
例えようもない希望と抱負とを抱いて現場  
にたち、そして現在に至るまで、何事も無  
我夢中、必死に一日いちいちを過してきました  
のですが、今、ふりかえつてみて、子ども  
たちの上にもこの自然の変化以上の変化成  
長を発見して驚き、たのもしさ、喜びを感  
じないではいられません。

私の担当しているのは二年保育年長組で  
すがこんなに勢揃いして大きな力を出すこ  
とのできるこの子どもたちの中にも四月頃  
は、いつもまだ独り遊び、あるいは他人の  
遊びを傍観していて、とかく元気がなく、  
寂しそうで笑顔など見せたことのなかつた  
子どももありましたが、この頃では、そろ  
つて元氣で明かるく、自信に満ちた行動を  
するようになり、また、園随一のボス園児

と称せられていた子どもがたいへん協和的  
になり、よいリーダーとして、その活動力  
を生かすようになつたなどの事例をいくつ  
も発見するごとに、私は一人ひとりの子ど  
もをこのように変化成長させたものは何だ  
ろうと考えさせられます。

それは、教師の指導力のみでは到底成し  
得るものでもなく、また、子ども自身の力  
のみによるものではなく、毎日、目には見えな  
くても常に進歩を望んでやまない両者の絶  
えざる、「協力」によるものだと思います。

幼児教育者が、どんなに立派な理論、技術  
をもつていても、子どもたちとの協力をなくして何がなされるであります。  
教師と子どもが共に生活の場を作り、  
そのなかで一しょに前進して行く姿こそ、  
教育の本然の姿であると思います。

私は、子どもたちとの日々の生活の中で、  
どんな小さな、平凡な事にも、このようない  
姿を描き出して行きたいと願っています。